

講演部門 報告

報告：沼田 栗実

担当者 エイズ出前授業：沼田 HIVのリアルを伝える：秋山

●概要：学生、専門職（病院・企業・行政・介護施設・社会福祉施設・就労移行支援施設などを含む）、保護者向け講演をおこなう。

●目的：HIV/エイズに関する知識の普及により、HIV陽性者への理解促進、予防意識の向上を目指す。年齢に合わせた性の健康教育を実施し、心身の大切さ、守り方を伝える。HIVに感染する仕組み、HIV陽性者の通院・治療・医療費、最新のHIV治療の常識やHIV陽性者の抱えている問題などについて、生の声を伝える。

●経過：

- ① 講演部門に依頼はなく、エイズ出前授業は行っていないが、「HIVのリアルを伝える」では、例年、依頼いただいている仙台のコミュニティセンターZELから依頼があり、「HIV陽性者と語ろう」に参加できた。
- ② コロナ禍で、講演スタッフ間で集まることも難しかったが、一度ではあるが、講演スタッフで集まることができ、情報共有ができた。

●結果・効果：

- ① スタッフの繋がりもあり、道外のコミュニティセンターからお声かけがあり、2023年度も参加し、HIV陽性者のリアルを伝えられる機会を持たた。
- ② 一度しかできななかったが、講演スタッフで集まり、話し合うことができた。その際、HIV検査相談室「サークルさっぽろ」をお借りすることで、サークルさっぽろを知らなかったスタッフに知ってもらうことができた。今後の講演プログラムの「検査について」お話しする際に生かしていく。

●課題：

- ① 講演依頼がない年が続いていたため、スタッフのスキル維持を懸念していた。アシスタントを含め、講演経験を重ねるのが難しい環境でもあるため、今後もさまざまなテーマ、さまざまな講師で、スタッフのスキルアップにつながるミニ内部勉強会を引き続き開催していきたい。
- ② 引き続き、実際の講演の質を保つためにも、講演の前に必ず練習の位置づけで、会の中で披露する時間を持つように徹底できるスケジュールで調整していく必要がある。
- ③ スタッフ間でコミュニケーションを綿密に取れるよう、2024年度も年に1~3回くらいの頻度で、話し合いの場を設け、情報共有をして行く。
- ④ 平日に活動できる講演スタッフの獲得と継続的なスタッフ育成を引き続き行っていく。
- ⑤ 引き続き、講演先の依頼条件の検討（随時）と講演部門のHPの内容改訂を検討する。また、現在、HPから簡単にアクセスする方法がないため、外部から講演活動に対して、Googleフォームなどを使用しながら、アクセスしやすい環境を作っていく。
- ⑥ 2024年度は、世界エイズデー札幌実行委員会とも協力して、講演活動の幅を広げられるように調整している。

※2023年度の講演部門実績

● エイズ出前授業

実施日	主催	講演内容等	講師
2023年11月25日	コミュニティセンターZEL (宮城県仙台市)	※HIV陽性者と語ろう	秋山 満